

駿河台大学 NEWS

SURUGADAI UNIVERSITY

3.18
2022
VOL.234



Happy graduation day!

ご卒業を心よりお祝い申し上げます

3月18日(金)本学体育館において、第32回学位記授与式が執り行われます。

新型コロナウイルス感染予防のため、卒業生、保護者の皆様及び来賓の皆様の安全性の確保の観点から、感染予防に配慮をした上で、午前・午後の二部制による実施とし、学位記授与式終了後に、ゼミ毎の指定教室に分かれ学位記の交付をいたします。

卒業生の皆さんの新たな道への門出を心より祝福いたします。

楽道家でいこう！

法学部長 長谷川 裕寿



ご卒業おめでとうございます。

明日からは、慣れ親しんだ大学を離れ、新たな世界に飛び込んでいくこととなります。これから進む世界でも、うまくいかないこと、失敗は多々あることでしょう。

そんなときは、「失敗？これはうまくいかないということを確認した成功だよ。」とのたまう発明王のひそみに倣って、失敗を(反省しつつも)笑い飛ばすメンタリティが大切です。

笑う門には福来る、といえますね。きっと、笑う「人」にもたくさんの福(成功)が訪れます。それを信じて、笑顔を決やせずに。皆さんのご活躍を心より祈念します。

自信を持って

経済経営学部長 佐川 和彦



ご卒業おめでとうございます。

皆さんの学生生活の前半は、バラ色で楽しいものだったでしょう。後半になると、新型コロナウイルス感染症の影響で社会の状況は一変しました。忍耐を強いられ、憂鬱な日々を過ごした方も多々あると思います。しかし、皆さんはへこたれなかった。逆境を乗り越えて、就職活動や卒業論文執筆を成し遂げ、卒業までこぎつけたことは称賛に値します。どうか自信を持ってください。社会に出てからも、ご活躍されることを期待しています。

変化はチャンス

メディア情報学部長 野村 正弘



ご卒業おめでとうございます。

2021年は延期された東京オリンピックが開催され、メダル獲得に沸く一方で、新型コロナウイルスの変異株、土石流などの自然災害と目まぐるしく変化する1年でした。

これらの社会情勢が一層のDX化を後押しする形になったのも事実です。このような大きな変化はピンチではなく、むしろチャンスです。メディア情報学部で4年間学んだ皆さんなら、このチャンスを十分にものにできると確信しています。皆さんのご活躍を心より祈念いたします。

感動と達成感のある人生を

現代文化学部長 吉野 貴順



約2年に渡るコロナ禍にあり、皆さんには本来あるべき大学教育を十分に教授できなかつたことが惜しまれます。しかし、皆さんは本学部の教育の集大成として、公開の場での研究発表を含む卒業研究を通常どおり遂行しました。きっと大きな達成感や充実感を味わったのではないのでしょうか？

何事も努力の度合いが大きければ大きい程、感動や達成感は大いなるものです。どうか皆さんのこれからの人生も、多くの感動と達成感に満ちたものでありますように願っています。

社会を変えるのは皆さんです

心理学部長 岩熊 史朗



ご卒業おめでとうございます。

この数十年間に日本の社会では、「どうせ世の中は変わらない」とあきらめる傾向が強くなっています。しかし、新型コロナウイルスによって、私たちの生活習慣や仕事の仕方は劇的に変化しました。これは、きっかけさえあれば社会は変化するし、変えようと思えば社会を良い方向に変えていくこともできることを示しています。社会を主体的に変えていくのが社会に出た皆さんの役割です。皆さんの力でより良い社会が実現されることを心より願っています。

ピュアな発声を忘れずに

大学院 総合政策研究科長 野田 裕康



ご卒業おめでとうございます。

今はマスクをした会話が必須になっています。様々な色や形をしたマスクは人の表情やイメージも変えてしまうものです。さらにマスク越しの言葉は、音量や音質にバイアスがかかるために、予期せぬ情報伝達のリスクもあるでしょう。言いたいことを相手に正確に伝えるには、マスクを着けていてもはっきりと発言することを常に心がけてください。口ではなくマスクが災いの元とならないように。

さらなる飛躍を！

大学院 心理学研究科長 川邊 譲



晴れて学士、修士となられた皆さん、おめでとうございます。

皆さんは、知識や技能以外にもたくさんのことを学び、経験したと思います。今後は、それを社会の中でさらに大きく育て、また、活かして行ってほしいと願います。世の中は今後益々多様性と不確実性を増していくと思われませんが、そこで必要となるのは柔軟な対応力と人間関係という財産です。それらを増やすため、「今、ここで」を大切にしていってほしいと思います。ご発展とご多幸を心からお祈りします。

定年退職教員からのメッセージ



退職にあたって

経済経営学部教授 町田 欣弥



私が駿河台大学に着任したのは1990年4月の経済学部経営情報学科の設置時でした。学部新設に参加するようにお声掛けいただいてからも、新設学部の教員採用審査は当時の文部省の大学設置審議会によるものでしたので、実際に着任が決まるまでは落ち着かないときを過ごしていたことを思い出します。その後の32年間で私の駿大での生活ということになりますが、この間を振り返ると元気な学生達の中で暮らせたということが何よりも大きな財産だと思っています。

学部開設当初の頃は、まだ社会科学系の学部でコンピュータを利用した情報教育を行うことはさほど多くはなく、大学紹介記事には理系並みの環境と評価されたこともありました。2年後に始まったゼミは、学生と一緒に過ごす貴重な時間でした。私のゼミを選んでくれた29期にわたる学生は約370名になります。中には事情で、やむなく学生生活の半ばでキャンパスを去っていった人も数名いましたが、殆んどは社会に羽ばたいてくれました。今でも、時折近況を伝えてくれる卒業生もいます。すでに企業の中堅として活躍している人、起業して経営者となった人、高校の教員になった人など様々です。中にはお子さんが駿大に進学し、卒業した元ゼミ生もいます。先日、初期の卒業生からは「もう50歳になる」との便りを受け取り、時の流れを感じました。

改めて、多くの教職員の皆様には、大変お世話になりましたことに感謝申し上げます。

駿河台大学での27年間

メディア情報学部教授 杜 正文



駿河台大学の「愛情教育」という教育理念に共感し、これまで27年間勤務させていただきました。着任当初(平成6年)から日本で初めての分野の「文化情報学部」(メディア情報学部の前身)に所属させていただき、主に「データベース設計論」、「ソーシャルメディア論」および「情報セキュリティ論」を担当させていただきました。

担当講義をきっかけに3ヶ月間「彩の国」県民カレッジ講師(マルチメディア社会とインターネット)として招かれたことや、在外研究として1年間「カリフォルニア大学デービス校」の客員教授をさせていただいたことは、今でも忘れられない経験です。

この客員教授のときに「インターネット遠隔教育を活用した学習環境の構築に関する研究」をさせていただくとともに「遠隔教育プログラムに関するコストと教育効果の調査分析(UCD Mellon Project)」や「教員への教育支援プログラムの参画(ET Partners Program)」等のプロジェクトにも参加させていただき、昨今の新型コロナウイルスが拡大する情勢において活躍する分野を研究できたことは、今でも非常にやりがいがあり、有意義なものと感じております。

末筆になりましたが、27年間支えていただいた皆様方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。今後も駿河台大学の1ファンとして、駿河台大学を応援させていただきたいと思っております。

キャラを脱ぎ捨てて

心理学部教授 原 聰



大先輩や同僚だった方々が、一人去り、二人去りして、ついに私の番になりました。大学教員として40年。駿大に勤めて34年。学生の皆さんや若い教職員の方には気の遠くなるような時間でしょうが、それこそ夢の時間のように速いものですね。駿大に初めて来たときは、法学部だけであったのが、今や5学部2大学院を持つまでに拡大。その成長は目覚ましいものです。

もちろん、大学を取り巻く状況は30年前とは大きく異なり、「これが同じ大学か!」と叫んでしまうほど。以前は他者を気遣い周囲の景色を眺めるゆとりがあったのですが、最近では外的なテンポに追い立てられ、立ち止まっている暇もないようで心配です。しかし、しなやかな感性と実行力を持つ若い教職員、学生であれば、こうした厳しい状況も乗り越えていくことができるでしょう。もちろんコロナにも。

長年過ごした研究室を整理していると、記された出来事や人・学生の具体的な姿が鮮やかに蘇り、駿大での時間が濃密で、充実しており、悔いのない過去だと気づかされます。ですから、これまで纏っていた研究者や大学教員といったキャラを脱ぎ捨てて生きていけそうです。そう、明日からはただの爺さんとして、飯能のかけがえのない友人たちと森の息吹を感じつつ生きていきます。

駿河台大学の益々のご発展と、皆様、とりわけ学生達一人々々の将来が実り多いものとなるようお祈りいたしております。



キャリアセンターより from the Career Center

公務員試験合格報告会を開催しました

2021年12月23日(木)、国税専門官、市役所職員、警察官、消防官などの公務員試験に合格した4年生による「公務員試験合格報告会」が、Zoomを利用したオンラインで開催されました。合格者からの筆記試験対策、面接試験対策、おすすめの勉強法やテキストなどの報告の後、公務員試験合格を目指す学生にメッセージをいただきました。また、ファンリレーターの松平光徳法学部准教授から、「大切なことは、自分だけで合格できたのではないということ、みんなの協力とそれを活かせる自分の能力があったからだと思います。頑張ってください。」とのエールが送られました。本報告会及び同日開催の公務員試験説明会(人事院関東事務局、法務省矯正局、国税庁・国税専門官、埼玉西部消防組合、特別区人事委員会、飯能市役所、警視庁、防衛省・自衛隊)の様相を収めた動画を、駿大生限定で公開しています。ポータルサイト「ポタロウ」から視聴することができますので、ぜひご覧ください。



岩嶋 翼 法学部4年
関根学園高校出身

国税専門官 東京消防庁 合格

試験当日の失敗や、不合格になることはできるだけ考えずに、今やるべきことをしっかりこなしていくことが一番の近道。自分はそれを信じた結果、合格を掴めたので、自信を持って、これからも勉強に挑んでほしいと思います。



伊林 清貴 法学部4年
埼玉県立所沢中央高校出身

警視庁 埼玉県警 合格

まず相手を知ること、次に自分を知ること。ゴールラインはみんな同じですが、スタートラインは同じではないので、そのスタートラインに早く立てるかが合格への近道かと思います。3年生の皆さんにはそういう意識で取り組んでほしいと思います。



澤井 瞭 法学部4年
神奈川県立上鶴間高校出身

相模原市役所 神奈川県警 合格

勉強が好きなのも苦手な人もいて、自分は苦手な方だったので、今日から10時間やろうというのは無理でした。最初はこの2ページやろう、数分やろうという感覚で良いので、少しずつ早め早めに準備をしていくのが良いと思います。頑張ってください。

卒業後のキャリアセンターの利用について

■既卒生向け求人票コーナー

既卒生対象の求人票をキャリアセンター内資料室の求人票コーナーにて公開しています。また、既卒生向けの各種イベント情報なども掲示しています。

■資格取得講座「キャリアカレッジ」

社会に出ると資格取得や知識・能力の向上が求められます。本学で開講するキャリアカレッジは、卒業後も受講できます。詳細は「資格取得講座キャリアカレッジ・公務員合格講座」パンフレットをご覧ください。

■個別相談

キャリアセンター職員による個別相談も受け付けています。就職相談をはじめ、書類の添削や模擬面接など、就職活動をしている卒業生への支援を行っています。来室予約は不要ですが、スムーズな対応を行うためにも事前にご連絡いただくことをお勧めします。また、オンラインによる面談も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

■利用案内

開室時間は、9時～17時です。
日曜日・授業日以外の祝日・大学の休日は利用できません。
※ご不明の際はお気軽にお問い合わせください。

■就職支援システムの利用

卒業後1年間は「就職支援システム(Job Hunter+s)」の利用が可能です。求人票をはじめ、採用実績、企業の採用担当者からの固有情報など、本学独自の情報を知ることができます。学外からインターネットによるアクセスも可能です。ログイン時のID・パスワードは在学中に使用していたものを入力してください。

■卒業生限定キャリアセンターLINE



【お問い合わせ先】駿河台大学キャリアセンター

tel: 042-972-1131
Mail: syusyoku@surugadai.ac.jp
URL: <https://www.surugadai.ac.jp/career/graduate/>





講義の様子(2018年度撮影)

vol.05

#法は「みんなのため」と「個人のため」のバランスをどうとっているか



法学部法律学科

倉島 安司 准教授

専門分野：行政法、公法上の損失補償
主な担当科目：『行政法概論』、『行政手続と行政争訟ⅠⅡ』、『災害と法』、『消防と法』など

Profile

2001年東北大学 法学研究科 公法学修了。2001年4月駿河台大学 法学部法律学科 専任講師。2002年4月～駿河台大学 法学部 法律学科 准教授。

倉島安司准教授についてもっと知りたい方は
本学ホームページをご覧ください。▶▶▶



専門分野・研究内容について

法律を全く勉強したことがない人でも、世の中には犯罪と刑罰について定める刑法という法分野があることは知っています。また、物を売り買いするときに守るべきルールがあることも、皆さんなんとなくご存じでしょう。こちらの日常生活にかかわる法分野を、民法と呼びます。しかし私の専門とする行政法は、刑法とも民法とも違う第三の法分野であり、国や地方公共団体が行う行政活動に関する法を扱います。

「みんなのため」に活動している行政には、住民に対して指示を出したり命令したりする権限が法律によって与えられています。このような権限は、例えば新型コロナウイルス感染対策を行うためには必要な権限です。しかしこの行政の持つ力を間違った形で行使すると、個人に対する権利侵害がおこります。そこでこの「みんなのため」の行政権限の行使と「個人のため」の権利とのバランスをどうとるかが、行政法という分野の課題となります。

私が研究している「公法上の損失補償」は、国家によって個人の権利や利益が制限された人々に、損失補償という金銭的補償を認めることで、この「みんなのため」と「個人のため」のバランスをとる制度です。

休日の過ごし方や趣味

私のゼミに参加したことがある学生たちは皆さん知っているのですが、私はアイドルが大好きです。しかもアイドル全般ではなく、今から25年近く前に結成されたモーニング娘。というグループと、その仲間たち(ハロー!プロジェクト=ハロプロ)の大ファンです。そのため休日になると、よくこのハロプロのライブやイベントに行っています。残念ながらここ2年間はコロナの影響で、ライブやイベントが中止され

たりしていますが、早くライブ会場で気兼ねなく大声を出せる世の中になってほしいものです。

学生に向けてメッセージ

高校までは世間は皆さんのことを子どもと考えて、さまざまなものを皆さんのために勝手に用意してくれました。しかし大学では、原則として自分で考えて自分で動かない限り、皆さんが得られるものは何もありません。大学が提供するものはあくまでも機会であって、それをつかむつかまぬかは皆さん次第です。もちろん皆さんには勉強もしっかりしてほしいですが、しかし勉強以外のものでもよいので、自分から積極的に何かにトライしてみることが大学生生活ではとても重要です。待っていないで、自分から動いてみましょう！



SUNDAI SPORT Information



祝卒業 箱根駅伝出場を支えた立役者

念願叶った今年の箱根駅伝。初出場にして箱根路に大きな足跡を残し、その反響は予想以上のものとなりました。その飛躍を支えた4年生の主務・マネージャーも今日卒業していきます。倉野恭佑さん(法学部4年 大牟田高校出身)、齋藤友美さん(現代文化学部4年 東京農業大学第三高校出身)、佐野智哉さん(経済経営学部4年 和歌山県立和歌山北高校出身)の3人に話を聞きました。

- 4年間お疲れさまでした。まずは箱根駅伝について

倉野 私は、5区と9区の付き添いをしていました。レース中は担当した選手のことと、最後まで襷が繋がるかを考えていました。電車での移動中にスマホでライブ配信を観ていて、襷が繋がった時は嬉しくて車両の隅で泣いていました。

佐野 私は1区と6区の付き添い、それぞれのゴールでのタオル掛けをしました。レース中はとにかく1秒でも詰めて、襷が繋がって欲しいと願っていました。同時に、このレースが終われば引退の2文字が頭をよぎりました。ゴール後、長く濃い4年間だったと感じました。

齋藤 まず当日変更を行い、その後は競技者係をしていました。バスで移動しながら選手の荷物を次の中継所まで運ぶ係です。バスの中で中継を見ていて、どの区間でもただ襷がつながってほしいという思いでした。襷が最後まで繋がった時は泣きそうでした。

- マネージャーを志望した理由、きっかけ

齋藤 高校まで陸上をしていましたが、入学前から駅伝部と決めていたわけではありませんでした。見学して大学でも陸上競技に関わりたと思い、マネージャーとして入部することを決めました。

佐野 将来教員になって、指導者として必要なスキルを得たいと思ったからです。

倉野 私は、大学4年時の夏合宿前に走りチームに貢献することは難しいと感じたため、何か他の形でチームを支えたいと思いました。

- マネージャーとしての仕事を教えてください

佐野 箱根駅伝の行動予定表作りや他大学分析表作り。2軍、第二寮の管理をしていました。

齋藤 私は会計の仕事、各大会へのエントリー、関東学生陸上競技連盟とのやり取り、大会報告書の作成などを主に行っていました。

倉野 私は主に給水、タイム取り、動画撮影、必要に応じて選手に対して客観的なアドバイスをしていました。その他、部の備品の整理などもしていました。

- マネージャーの仕事をするうえで心掛けていたこと

倉野 一番は選手の気持ちになって考えることです。私は双方の気持ちがわかるので、選手がどうしてほしいかを考えていました。また、選手に分け隔てなく接することです。

齋藤 大会のエントリーなどでミスがあると選手が出場できなくなってしまうので、細心の注意を払いました。

佐野 主務の私は、監督やコーチの傍につき、選手の動きを観察し、普段の様子などを話し合ってきました。選手との距離感を考えました。何事も効率よくするにはどうすればいいかを考えました。



練習をサポートする倉野マネージャー(右)

- マネージャーの仕事のやりがい、楽しかったこと

齋藤 予選会を突破した時に皆の笑顔が見られた時は本当に嬉しかったです。また、予選会でも本戦でも終わった後に「ありがとう」と言ってもらえた時は4年間続けてきてよかったと思いました。

徳本監督より

毎年この時期になると、思い返せば色々なことがあったと興味深く感じる時があります。学生と過ごす日々は、様々なことが起きますが、日々、一人ひとり成長していく姿に頼もしさを感じます。

様々な失敗をして、挑戦し、小さな成功を繰り返しながらこのチームは



ゴールした阪本主将を迎える佐野主務(右)と齋藤マネージャー(左)

佐野 選手が大会で自己ベストを更新した時や結果を残した時、特に予選会を突破した時です。

倉野 元来、世話焼きなところがあるので選手のために行動すること自体がやりがいでした。また、給水を渡した時などに言われる「ありがとう」の一言で頑張ろうと思えました。

- 4年間で心に残る場面、試合は

3人 今年度の予選会です！

齋藤 一番心に残っています。本当に嬉しかったです。

倉野 部活を辞めないでよかったと心から思えました。

- 卒業後の進路、そこで目指すもの、これからの夢

齋藤 医療関係です。医療という生活に欠かせないものに関わる中で、様々な人の支えになれるように頑張ります。

佐野 地元の和歌山県で中学校の社会科の教員になります。生徒が自分を見て教員になりたいと憧れられるようになりたいです。

倉野 地元の市役所です。未来ある子どもたちに希望を与えられる人間になりたいと思います。

- 共に卒業するチームメイトへひとこと

齋藤 本当にありがとう。最高の4年間でした。

佐野 本当にありがとう。

倉野 一癖も二癖もある人たち。でもそんな皆とだから夢を掴めました。最高です。ありがとう。

- チームの後輩たちへ

齋藤 新しいチームで大変なこともあると思いますが目標に向かって頑張ってください。応援しています。

倉野 きつくて辛いことばかりだと思いますが、最後に「箱根駅伝」というでっかい褒美がもらえることを信じて頑張ってください。

佐野 来年はシード権獲得を目指して頑張ってください。

- 徳本一善監督へ

齋藤 4年間本当にお世話になりました。駅伝部に入ってよかったと思わせてくれてありがとうございます。また監督の姿がたくさんテレビで見られることを楽しみにしています。

佐野 迷惑ばかりかけてしまいましたが、「終わりよければすべて良し」と言ってくれたのが凄く嬉しかったです。本当に心の底から感謝しています。ありがとうございます。

倉野 せっかく声をかけてくださったのに走り恩返し出来なくてすみません。私もやると決めたら真っすぐに突き進んでいける強い人間になりたいです。4年間お世話になりました。

10年目にして箱根駅伝出場という大きな目標を達成しました。

そんな歴史の1ページを刻んだ、チームを支えたマネージャーに心から「ありがとう」という言葉を贈りたいと思います。これからも、失敗を恐れず、挑戦し、成長していくチームであり続けます。



卒業生へ 事務局からのお知らせ



卒業(修了)後の証明書申込みについて

駿河台大学同窓会ホームページ内「証明書の申込方法」をご覧ください。以下のURLもしくはQRコードからアクセスできます。

URL <https://www.surugadai.ac.jp/dousou/proof.html>



披露宴祝電サービス

卒業生の皆様の晴れの日に、母校の理事長・学長・学部長がお祝いのメッセージ(祝電)をプレゼントします。詳細は駿河台大学ホームページ内「披露宴祝電サービス」をご覧ください。以下のURLもしくはQRコードからアクセスできます。

URL <https://www.surugadai.ac.jp/sotsugyo/shukuden/>



NEWS

公式 SNS で情報発信中!

 Instagram アカウント @surugadaiuniv 学内の様子や、 大学に関する最新のニュース、 イベント情報などを配信!	 YouTube アカウント @SurugadaiUniv 大学生活の様子や、 オープンキャンパス観覧授業動画、 イベント案内等を掲載いたします。	 Twitter アカウント @surugadai1987 大学のニュースやイベント情報、 学食の日替わりメニューの案内、 キャンパスの日常を発信中	 LINE アカウント @surugadai.univ 大学の入試関連情報や、 オープンキャンパス、 最新のイベント情報などを配信
--	--	---	--

その他、母校の最新情報は本学公式HPや公式SNSで公開していますのでご覧ください!



— 駿河台大学へのご支援(ご寄付)について —

2021年度も本学への教育振興支援に対し、深いご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。特に駅伝部の箱根駅伝出場に際しましては、大変多くの方々より多大なるご支援をいただきました。おかげさまで選手全員が無事に完走し、最後まで一本の襷を繋げることができました。寄付状況のご報告とともに、厚く感謝申し上げます。なお、次号にて各寄付金の内訳と、ご芳名を掲載させていただきます。

2021年度
募金状況のご報告
(2021.2月~2022.1月)

ご寄付者		寄付金額
個人	のべ430名	8,106,887円
法人	のべ96社	11,234,500円

「駿河台大学教育振興資金」、「箱根駅伝応援募金」、「スポーツ振興支援募金」の合計となっております。

本学への寄付方法について

■インターネットによるお申込み

駿河台大学ホームページ

<https://www.surugadai.ac.jp/about/kifu/>

検索サイトを利用する場合は「駿河台大学 寄付」で検索してください。

駿河台大学 寄付 検索

◎「スポーツ振興支援募金」を選択すると、特に支援したい運動部を指定して寄付することが可能です! いただいた寄付金はご指定の運動部で活用させていただきます。



■振込用紙によるお申込み

Tel **042-972-1191**
(財務課 9:00~17:00 日曜除く)

E-Mail zaimu@surugadai.ac.jp

ご氏名とご住所をお知らせください。専用の振込用紙をお送りいたします。

- 本学へのご寄付は、所得税制上の優遇措置を受けることができます。
- 確定申告を行うことで寄付金控除により減税となります。詳細は、左記ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 駿河台大学財務課 (☎042-972-1191)

2021年度 答辞・総代・各賞受賞者一覧

答 辞

法学部 諸井 歩 (埼玉県立入間向陽高校出身)

メディア情報学部 滝澤 奈桜 (埼玉県立所沢西高校出身)

総 代

優 秀 賞

総合政策研究科(大学院)
湯本 容子

法学部
酒井 恵佑 (新潟県立小千谷高校出身)

法学部
岩嶋 翼 (関根学園高校出身)

総合政策研究科(大学院)
XU DANYI

経済経営学部
藤本 侃 (正智深谷高校出身)

経済経営学部
喜友名 伶奈 (沖縄県立コザ高校出身)

心理学研究科(大学院)
天邊 朱音

メディア情報学部
栗嶋 友華 (埼玉県立坂戸高校出身)

メディア情報学部
北爪 好香 (群馬県立伊勢崎高校出身)

心理学研究科(大学院)
竹内 茜

現代文化学部
村田 健太郎 (山梨県立山梨高校出身)

現代文化学部
小倉 碧 (埼玉県立大宮中央高校出身)

心理学部
小島 駆 (山梨県立北杜高校出身)

心理学部
鈴木 彩紗 (青森県立八戸商業高校出身)

菩提樹賞

法学部
伊藤 雅 (栃木県立大田原女子高校出身)

木村 祐哉 (栃木県立足利高校出身)

現代文化学部
秋田 慶人 (静岡県立静岡西高校出身)

笠原 洸希 (長野県塩尻志学館高校出身)

佐藤 紅羽 (明秀学園日立高校出身)

稲垣 咲穂 (山梨県立甲府南高校出身)

木下 桜音 (埼玉県立所沢高校出身)

高橋 拓也 (長野県北部高校出身)

関川 湧也 (新潟産業大学附属高校出身)

君島 拓海 (聖望学園高校出身)

中島 勘太 (屋久島おおぞら高校出身)

たかはし 達也 (埼玉県立志木高校出身)

新明 英里佳 (新潟県立新潟高校出身)

我田 優衣 (新潟県立六日町高校出身)

高橋 龍 (北越高校出身)

徳武 三奈 (新潟県立長岡向陵高校出身)

LIU PIN PIN (留学生・中国)

心理学部
和泉 雄太 (新潟県立糸魚川高校出身)

双木 温斗 (武蔵越生高校出身)

メディア情報学部
伊澤 美紀 (栃木県立小山城南高校出身)

かめだ 菜摘 (下北沢成徳高校出身)

野底 樹音 (沖縄県立那覇商業高校出身)

大須賀 和奏 (静岡県立浜松湖南高校出身)

くさまき 知樹 (茨城県立土浦第一高校出身)

宮崎 玲奈 (新潟県立五泉高校出身)

宮城 壮都 (沖縄県立読谷高校出身)

すずき 綾菜 (福島県立磐城高校出身)

飯澤 勇希 (東京都立光丘高校出身)

宮崎 大空 (高崎商科大学附属高校出身)

鈴木 李佳 (長野県野沢北高校出身)

内沼 紗和生 (東京農業大学第三高校出身)

向井 博美 (東京都立野津田高校出身)

関本 李佳 (長野県野沢北高校出身)

加藤 希美 (青森県立八戸東高校出身)

柳川 祐樹 (狭山ヶ丘高校出身)

わたなべ 渡邊 さや (新潟県立長岡向陵高校出身)

特別賞

※課外活動において、本学の名声を高め、かつ学生の模範となる努力・チャレンジをし、顕著な実績をおさめた学生へ贈られる賞。

スポーツにおける活躍

法学部
河上 かりん (ホッケー/茨城県立東海高校出身)
工藤 李華 (ユニバーサルホッケー/埼玉県立小川高校出身)
後野 詩衣菜 (陸上/京都府立乙訓高校出身)
野崎 らむ (ホッケー/埼玉県立飯能高校出身)

経済経営学部
根井 大輝 (野球/高崎健康福祉大学高崎高校出身)

現代文化学部
足立 依鞠 (ホッケー/岐阜県立岐阜各務野高校出身)

犬走 淳人 (陸上/大阪高校出身)

小清水 悠介 (陸上/桜丘高校出身)

狐塚 由衣 (ホッケー/栃木県立今市高校出身)

阪本 大貴 (駅伝/兵庫県立西脇工業高校出身)

瀧澤 瑛司 (ユニバーサルホッケー/埼玉県立浦和東高校出身)
田尻 健 (駅伝/開新高校出身)

心理学部
今井 隆生 (駅伝/東京都立大泉高校出身)

文化的活動等の各方面における活躍

法学部
浦生 ひかり (法学部女子会/共立女子第二高校出身)

メディア情報学部
佐田 菜摘 (文化活動(映像制作)/東北高校出身)

CHIANG WEISHENG (文化活動(映像制作)/留学生・台湾)

心理学部
遠藤 諄 (地域貢献活動/静岡県立富士宮東高校出身)

新保 さくら (地域貢献活動/新潟県立高田北城高校出身)

高橋 篤広 (ボランティア/共愛学園高校出身)

栗嶋 友華 (地域教育支援/埼玉県立坂戸高校出身)

中島 菜 (地域教育支援/埼玉県立鶴ヶ島清風高校出身)

心理学部
小糸 克昌 (地域IT化サポート/自由の森学園高校出身)

長谷川 歩美 (環境保全活動等/新潟市立高志中等教育学校出身)

まちを元気に、まちで元気にプロジェクトにおける活躍
メディア情報学部
栗嶋 友華 (地域教育支援/埼玉県立坂戸高校出身)